

平成26年度 地域力創造セミナー（東京編）

～テレワークの活用による地方定住や地域おこしの可能性～

昨年12月末、日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、今後5か年の目標や施策の基本的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。この中で、地方における安定的な雇用の創出や、地方への新しいひとの流れをつくるといった4つの目標が示され、今後、ますます地域を支える人材の育成や「地域力」を高める取組、「住民協働」の視点が重要となってきます。このため、総務省は、活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウの蓄積、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワークづくりを目的に「地域力創造セミナー」を開催します。

今回のセミナーは、「テレワークの活用による地方定住や地域おこしの可能性」をテーマに、地域おこし協力隊員等の外部人材の起業やサイドビジネスづくり、あるいは、現在の生業や地域おこし活動の更なる向上に向けて、テレワークがもつ可能性や有効性を学ぶとともに、テレワークの弱点や限界等も併せて学び、テレワークを活かした地域力創造のポイントについて具体的に考えます。



テレワークを使った新しい働き方、暮らし方



徳島県神山町の開設されたIT企業のオフィス

平成27年2月27日（金） 13:10～18:30（開場12:30）

フクラシア品川クリスタルスクエア 3階 会議室G

入場無料

本セミナーの特長

★「地域人材ネット」に登録する専門家等による活力ある地域づくりや課題解決の先進事例等の講義等を通して、知識やノウハウが習得できます。

★受講募集時に質問を募り、それを講義へ反映させることで受講者のニーズに対応いたします。

★名刺交換会、交流会を通じて、講師や受講者間でネットワークを広げる機会があります。

※「地域人材ネット」：地域活性化に活躍している民間専門家や先進市町村職員等を登録し、総務省ホームページで広く紹介することにより、市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与しています。

地域人材ネット Web アドレス：<http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>

本セミナーの受講の対象者

- 地域づくりを実践・支援する、あるいは関心のある行政職員、地域おこし協力隊の皆さん
- NPO、まちづくり団体等の職員の皆さん、あるいは地域づくりに関心がある住民の皆さん
- ICTの活用に取り組む皆さん
- テレワークによる働き方・暮らし方に興味のある方

お申込みの方法

■本セミナー運営事務局「価値総合研究所ホームページ」、または、FAX（03-5205-7922）でお申し込みください。

★定員は150名となります。どちらも先着順とさせていただきます。

★お申込みの締切は平成27年2月26日（木）12時となります（定員に達した時点でも締切となります）。

プログラム

●開会 (13:10)

○主催者挨拶 (13:10)

●講演

○政策説明 (13:15~13:30 15分)

「地方創生と外部人材」

講師 野竹 司郎 (総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室長)

○リレーセッション (講演) 1 (13:35~14:35 60分)

「テレワークの現状と、地方創生におけるテレワーク」

講師 田澤 由利 氏 ((株)テレワークマネジメント代表取締役、(株)ワイズスタッフ代表取締役)

○リレーセッション (講演) 2 (14:40~15:40 60分)

「テレワークの実践例と期待される効果」

講師 井沢 晃一 氏 (一般社団法人日本テレワーク協会専務理事)

<休憩>

○リレーセッション (講演) 3 (15:55~16:55 60分)

「テレワークがもたらす新しいスタイルの地域おこしと暮らしと仕事」

講師 松村 茂 氏 (東北芸術工科大学デザイン工学部教授)

○パネルディスカッション (17:00~18:00 60分)

テーマ:「テレワークの活用による地方定住や地域おこしの可能性」

コーディネーター: 松村 茂 氏

パネリスト : 田澤 由利 氏

井沢 晃一 氏

●閉会 (18:00)

●名刺交換会 (情報交換会) (18:05~18:25 20分)

●交流会 (18:40~20:00 80分)

※事情によりプログラムの一部を変更する場合があります。

※交流会のみの参加はご遠慮ください。

※交流会参加費は4,000円となります (参加費は当日交流会場にて集金いたします)

申込先

【お申し込み先:事務局】

株式会社価値総合研究所 地域力創造セミナー係

担当: 八木、目黒

TEL: 03-5205-7901 FAX: 03-5205-7922

E-Mail: seminar@vmi.co.jp

【お問い合わせ先:主催者】

総務省地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

担当: 高橋係長、井上

電話: 03-5253-5392 FAX: 03-5253-5537

メール: chiikikasseika1@soumu.go.jp

価値総合研究所ホームページからのお申し込みはこちらから

<http://www.vmi.co.jp/symposium/business/h26chiikiryoku3.html>

会場までのアクセス



フクラシア品川 クリスタルスクエア

東京都港区港南 1-6-41
品川クリスタルスクエア
2階、3階

TEL : 03-6430-9355

◆鉄道利用

- ・JR 品川駅港南口から
徒歩 8 分
- ・京浜急行[品川]駅から
徒歩 8 分

申し込み欄 (FAX 申込み用) FAX 番号 : 03-5205-7922

お名前 (ふりがな)	
E-mail アドレス	
電話番号	
ご所属	(所属名)
	(部署名) (役職名)
	(地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数) 年
外部専門家の活用 状況	①制度を知らない、②導入を考えている、③導入1年目、④導入2年目、 ⑤導入3年目、⑥4年以上、⑦不明 (いずれかにひとつに○を付けてください)
地域おこし協力隊 の状況	①制度を知らない、②導入を考えている、③導入1年目、④導入2年目、 ⑤導入3年目、⑥不明 (いずれかにひとつに○を付けてください)
参加者名簿へ のお名前等の記載	可 ・ 否 (どちらかに○を付けてください) 皆様方のネットワークづくりの一環として当日に参加者名簿を配布する予定です
交流会への出欠	参 加 ・ 不 参 加
講師にお聞きした いことがございましたら ご記入ください	講師名： ご質問：

※複数名申し込みの際は、応募用紙をコピーしてください。

※本セミナーへの参加は先着順となります。

※交流会の参加区分について、どちらか一方に○を付けてください。

※交流会のみの参加はご遠慮ください。

※交流会参加費は4,000円となります(参加費は当日交流会場にて集金いたします)。

平成26年度 地域力創造セミナー（東京編）講師紹介

	氏名		実績等
リレーセッション1	<p>田澤 由利 (たざわ ゆり)</p>		<p>株式会社 テレワーク マネジメント 代表取締役</p> <p>株式会社 ワイズスタッフ 代表取締役</p> <p>奈良県生まれ、北海道北見市在住。上智大学卒業後、シャープ(株)でパソコンの商品企画を担当。出産と夫の転勤で退職。三人の子育てと夫の転勤による5回の転居の中、パソコン関連のフリーライターとして自宅で働き続ける。</p> <p>1998年、夫の転勤先であった北海道北見市で(株)ワイズスタッフを設立。全国140名の自営型テレワーカーと共に、各種IT関連業務をプロジェクト体制で実施。</p> <p>また、2008年に設立した(株)テレワークマネジメントは、東京にオフィスを置き、企業の在宅勤務の導入コンサルティングや、テレワークに関する講演・研修、政策への提言など、柔軟な働き方の普及に取り組んでいる。</p> <p>総務省「地方のポテンシャルを引き出すテレワークやWi-Fi等の活用に関する研究会」構成員、厚生労働省「在宅勤務モデル実証事業検討会」委員 著書「在宅勤務が会社を救う」(東洋経済新報社)。</p>
リレーセッション2	<p>井沢 晃一 (いざわ こういち)</p>		<p>一般社団法人 日本テレワーク 協会 専務理事</p> <p>東京大学経済学部卒業後、日本電信電話公社(現日本電信電話株式会社(NTT))へ入社。</p> <p>東日本電信電話株式会社(NTT東日本)、NTTドコモ、NTTコミュニケーションズ等にて現在のブロードバンドやコミュニケーションツールの活用及び普及促進を図る。</p> <p>平成23年6月から現職。</p> <p>現在、「テレワークを通じたワークスタイル変革」の推進を目指し、政府のテレワーク推進事業の支援活動に注力、テレワーク相談センター運営、テレワーク助成金受付、テレワーク白書の出版、テレワーク推進賞による表彰、各種調査研究活動等を行っている。</p>
リレーセッション3	<p>松村 茂 (まつむら しげる)</p>		<p>東北芸術 工科大学 デザイン工学部 教授</p> <p>東京大学大学院博士課程修了後、東京大学先端科学技術研究センター助手を経て、現在東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科教授(工学博士)、明治大学兼任講師。山形県デジタルコンテンツ利用促進協議会副会長、テレワーク推進フォーラム普及部会部会長代理、日本テレワーク学会理事・学術部会長等を務める。</p> <p>ICTを活用した地域振興が専門。インキュベーション・起業家育成・廃校活用・ワーキングスペースの活用等、人材育成とテレワーク活用を結びつけた地域振興施策について研究している。</p> <p>山形県朝日町の地域おこし協力隊から生まれた地域おこしキャラクター「桃色ウサヒ」は松村研究室の研究が母体となっている。</p>